

## 目標達成計画

作成日: 平成 27年 3月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	1階に玄関があり階段で2階に上がるとグループホームの入り口がある。1階は施錠していないが2階の入り口が階段のすぐ側にあり、転落防止の為施錠している。拘束についての勉強会は職員会議等で行っているが、弊害について認識している。	2階に入り口があり、階段の近くで転落の危険性があるため、電子錠による施錠を行っているが、利用者が閉塞感を感じずに過ごせるようにしたい。	転落事故につながる危険性もあるため、直ぐに開放することは難しいが、対応策を職員間で話し合い取り組んでいく。最初の取り組みとして2階玄関の内側に「外出希望の方はお気軽に声掛けして下さい」と張り紙をする。	6ヶ月
2	19	○本人と共に支えあう家族との関係 家族を支援される1方の立場におかず本人と家族の絆を大切にする。→受診や行事の際に家族を招待し共に楽しいひと時を過ごして頂いているが、より一層強化していきたい。	グループホームの特性を生かし、利用者と家族という捉え方に留まらず、利用者の家族同士交流が持てる取り組みを行い、悩みなど話し合える場を作りたい。	①家族会を立ち上げ、交流会を持てるようにしたい。 ②年に1回程度昼食会など行い、ご利用者さんと食事を召し上がって頂く。	10ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。